

岡 歯 会 報



巻 頭 言 酒井会長再選ご挨拶

〈p 1〉

慶 祝 100歳おめでとうございます

〈p 2〉

謹んで震災のお見舞いを申し上げます

〈p 8〉

学院だより 第51回卒業証書授与式
小林学院長ご勇退

〈p 20〉

2011 4 vol.771

岡山県歯科医師会



目 次

巻頭言 ご 挨拶……………岡山県歯科医師会 会長 酒井 昭則	1
寿 慶祝 100歳おめでとうございます	2
Open the 理事会	3
謹んで震災のお見舞いを申し上げます。	8
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (80)	9
社会保険部 第22回 社会保険部検討委員会報告	11
学術部 岡山大学医学部麻酔科卒後研修センター見学	12
報告	13
図書委員会 Book review	14
医療管理部 平成22年度 スタッフレベルアップ研修会報告	16
厚生部 共済事業部会 入院共済金の申請を5月31日までに	17
「県歯新共済」施行細則 一部改正のお知らせ	17
支部モニター 倉敷・児島・玉島・都窪・吉備支部	18
学院だより 第51回卒業証書授与式	20
リレー随筆 「お師匠さんと義理の父」 井上 謙 (岡山支部)	22
訃報	23
会員異動	23
4 月の収納金	24
2 月 会の動き	24
4 月・5 月 本会の予定	25
歯科医師国保からお知らせ	25
4 月・5 月 支部の予定	26
こちら編集室	26
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日 (4 月・5 月)	27

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙作品 「酒津夜桜」
倉敷支部 田辺 省二 先生



ご挨拶

岡山県歯科医師会

会長 酒井 昭 則

今回、無投票当選と云うご信任を頂きました。偏に会員各位のご厚情の賜物と衷心より感謝と御礼を申し上げます。まことに光栄に存じますと同時に改めて責任の重さに身の引きしまる思いであります。

桜は寒さの中、芽吹き、春の訪れを告げるかのように一輪、二輪と咲きはじめ、またたく間に満開になるが、またたく間に春風が花びらを散らし、地面を桜色に染める。しかし一年後、同じように甦る。また、その翌年も絶えることなく営みつづける。陽光と水、そして生命を失った秋の落ち葉を養分に桜木は生きつづける。

長い歴史の中で培われてきた豊かな土壌に根をはり枝を伸ばし花を咲かせる。よしんば大輪の花を咲かせたとしても、それは瞬時のことでしかない。最も大切に心すべきは、大地に縦横無尽にはりめぐらせた根と強くて固い幹づくりにある。

5年前、新たな胎動を求め、そして挑むことをお約束いたしました。掲げた誓い「本会の唯一無二かけがえのない財産は会員」このことは一時も脳裏を離れることはありませんでした。澁むな、怯むな、弛むなと常に自戒してまいりました。厳しい環境下にありますが、初心を忘れることなく県民の健康保持、増進に心血を注ぐことで、歯科医療の社会的価値を更に高めるべく最善を尽くす所存であります。

二年間、先生方のご意見、ご提言、ご批判を心耳で聞き、まなざしを謙虚に受け止め、いかなる荒波、疾風にも臆することなく会員各位の権益擁護をしっかりと胸に刻み、驕ることなく誇りを持って邁進する所存であります。

一朵の白い雲を追ひ求めます。より一層のご指導とご教示をお願いし、ご挨拶といたします。

慶祝 100歳おめでとうございます

岡 田 一 道 先生



満100歳の誕生日を迎えられた岡田一道先生（玉島支部）に百寿のお祝いを届けるため、平成23年2月13日(日)岡山県歯科医師会より酒井昭則会長，鈴木聖次常務理事，東原慶和理事が倉敷市玉島のご自宅へ伺いました。

本当に寒い日が続いておりましたが、岡田一道先生は玄関までお元気に出迎えて下さいました。

酒井県歯会長よりのお祝いの言葉と花束贈呈に一人で立たれて対応される程足元も良く，皆を応接間へと案内して下さいました。

是非伺ってみたい長生きの秘訣は，“規則正しい生活をする事”“毎日煮魚を食べること”“起きたら庭仕事を毎朝すること”だと教えて下さいました。

「現在，仕事は義歯を中心に行ない，受付，技工，明細書と元気そのものの生活です。中でも庭いじりが好きで，庭木の手入れが毎日の運動になっており，足腰が丈夫で風邪をいっぺんもひいたことがないんです」と話されました。

「呆けずに自分のことが出来るのが一番です」と話され，とても100歳とは思えぬご様子に一同感嘆致しました。また帰り際には，広い手入れのゆき届いたお庭をご自分で案内しながら次々と説明して下さい，皆を最後まで見送って下さいました。

お子さん4人，お孫さん8人，ひ孫さん15人と健やかに成長された家族に囲まれて人生を謳歌し，趣味に没頭される岡田一道先生の益々のご健勝をお祈り致します。



平成22年度 第37回
平成23年 2月3日(木)
18:30～19:50

1. 会長挨拶

林原の1,300億円の負債と大相撲の八百長のニュースに驚かされました。どちらも、内部の一部では、何処かでおかしいと気付いていたはずなのに、大事にならないだろうと高を括っていたのではないのでしょうか。

一見透明感が保たれているようで、実態がそうでない場合が最も恐ろしいと感じました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 第138回学術集談会打合せ会 1月29日(土)
- (2) 学術部 救急打合せ 1月31日(月)
- (3) 学術部正・副委員長会 2月1日(火)
- (4) 広報部編集委員会 2月1日(火)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 会長選挙立候補書類お渡し期間
1月24日(月)～28日(金)
- (2) 「しっかり噛んで健康家族」
1月29日(土)～30日(日)
- (3) 岡山県警察音楽隊「ふれあいコンサート」
1月29日(土)
- (4) 第138回学術集談会 1月30日(日)
- (5) 新世紀おかやま母子保健計画中間評価検討会
議 2月3日(木)
- (6) 保険医療関係機関連絡会議 2月3日(木)
- (7) 第3回学校保健推進協議会 2月3日(木)
- (8) 順正学園吉備国際大学短期大学部との面会
2月3日(木)

〔その他〕

- (1) 検死 1月8日(土), 11日(火)
- (2) 岡山支部 黒瀬益子先生
お通夜 1月27日(木), 告別式 28日(金)

〔学院報告〕

- (1) 第2回学院監査・監事会 1月28日(金)
- (2) 一般入試A日程合否判定委員会 1月31日(月)
- (3) 第5回全国模擬試験 1月31日(月)

〔事務局報告〕

- (1) 日歯より百歳の祝金5万円
- (2) 代議員会資料について

3. 行事予定

本会行事	75件
学院行事	8件
国保組合行事	6件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 倉敷歯科医師会より「平成22年度定時総会」の開催と臨席依頼について
日 時 2月24日(木) 15:00
場 所 倉敷歯科医師会館
案 内 酒井会長, 大嶋専務理事
- (2) ベル歯科衛生専門学校より卒業証書授与式の挙行と臨席依頼について
祝 電
日 時 3月4日(金) 13:30
場 所 ベル歯科衛生専門学校
- (3) 日本歯科医師会より日歯広報コラム『都道府県通信』執筆依頼について

次年度に

テ ー マ 自由
タイトル 15文字以内
字 数 1,500字以内
写 真 1点以上(図表でも可)
執筆者 役員並びに各種委員会委員
掲載予定 平成24年1月25日号

締 切 掲載予定号の2週間前

- (4) 日本学校歯科医会より学校歯科医制度80周年・社団法人日本学校歯科医会設立40周年記念文部科学大臣表彰被表彰候補者の推薦依頼について

学校歯科医歴調査し、その後

推薦数 1名

締切日 3月16日(水) 必着

基 準 学校歯科医歴30年以上

原則として日本学校歯科医会正会員

〔検討事項〕

- (1) 眠れる歯科衛生士サポート委員会 卒業生向け 案内原稿

5. 閉 会 (藤井副会長)

今日の視点 (横見由貴夫)

任期もいよいよラストスパートです。

会館ギャラリーがオープンして早一年が経過しました。力作の数々をご提供いただき、展示にご協力を賜りました先生方には、心より感謝申し上げます。いつものスペースにいつものように写真や絵画が展示してあることを、ごく普通の光景として先生方にお受け入れいただき、少しでも心を和ませていただければと思って始めました。3月28日に最終の入れ替え作業を予定しています。その後は未定ですが、今しばらくお楽しみいただければ幸いです。

平成22年度 第38回

平成23年 2月10日(木)

18:30~20:19

1. 会長挨拶

明日は天気が悪いので研修会への参加者の出足が心配です。

日歯広報に掲載されていた本県の矢吹、小沢、石戸の3先生の記事を好感もって読ませて頂きました。それぞれのお人柄と人生感が滲み出て胸に響くものがありました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 社保 審査・検討小委員会 2月5日(土)
- (2) 社会保険部検討委員会 2月5日(土)
- (3) 渉外部面会 2月8日(火)
- (4) 選挙管理委員会 2月9日(水)
- (5) 広報部編集委員会 2月9日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 岡山県地域・職域保健連携推進協議会 2月4日(金)
- (2) 健康おかやま21推進会議 2月4日(金)
- (3) 第29回日本接着歯学会学術大会懇親会 2月5日(土)
- (4) 新見支部新年会 2月5日(土)
- (5) 文化事業部会 レクリエーション (スキー・スノーボード) 2月6日(日)
- (6) 救急蘇生インストラクター養成コース 2月6日(日)
- (7) 学院同窓会創立50周年記念祝宴 2月6日(日)
- (8) 第29回北方領土返還要求岡山県民大会 2月7日(月)
- (9) 会長選挙公示 2月7日(月)
- (10) 会長選挙立候補届受付 2月7日(月)~9日(水)
- (11) 日学歯 三役会 2月8日(火)
- (12) 日学歯 理事会 2月9日(水)

- (13) 日本学校歯科医会加盟団体長会議
2月9日(水)

- (14) 集団指導 2月10日(木)

〔学院報告〕

- (1) 第2回学院運営協議会 2月4日(金)
(2) 一般入試B日程 願書受付期間
2月4日(金)～25日(金)
(3) 第7回校内模試 2月8日(火)

〔事務局報告〕

- (1) 口座振替依頼書提出状況

3. 行事予定

本会行事	60件
学院行事	6件
国保組合行事	7件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 日本歯科医師会第5回定款等改正臨時委員会の開催と出席依頼について
藤井副会長

日 時 2月23日(水) 14:00～17:00

場 所 日本歯科医師会館

委 員 藤井副会長

- (2) 岡山県医療審議会(医療法人部会)の開催と出席依頼について

都道府県会長会議の為 欠席

日 時 2月25日(金) 15:00～15:50

場 所 岡山衛生会館

委 員 酒井会長

- (3) 江田五月会パーティーの開催と会長出席依頼について

連盟対応に

日 時 2月27日(日) 14:00

場 所 岡山プラザホテル

- (4) 「石井みどりを励ます会」の開催と出席依頼について

森先生を派遣

日 時 3月4日(金) 18:00

場 所 ホテルニューオータニ

会 費 20,000円

- (5) 第2回岡山県歯科保健対策協議会の開催と派遣依頼について

黒住副会長, 平岩理事

日 時 3月17日(木) 14:00～15:30

場 所 岡山衛生会館

委 員 黒住副会長, 平岩理事

- (6) 日本歯科医師会より「平成22年度所得税青色申告決算書」の提出依頼について

しばらく様子を見る

対 象 本会会員 210名(会員数の約20%)

期 限 6月末日

〔検討事項〕

- (1) 本会入会申込みについて

承認

正会員 むらかみ 村上 とも 知(岡山支部)

- (2) 本会会館使用申込について

承認

日 時 2月26日(土) 20:00

主 催 日本大学歯学部同窓会

5. 閉 会(黒住副会長)

今日の視点(南 哲之介)

医療管理部では、昨年「院内トラブル対策読本」を刊行し、併せて11月にクレーム対策の研修会を実施したが、その後、医事処理委員会に持ち込まれる事例が激増している。

単なる偶然なのか、相談窓口が周知されたことにより、潜在事例が顕在化してきたのかは検証のしようもないが、いずれにしても日々の診療中、多くの問題が発生していることは事実である。

説明不足によるもの、医療過誤、クレーム等、事例は様々ではあるが、トラブル発生時の初期対応に問題があり、患者さんの心情を害したことにより、より大きなトラブルに発展した事例が多い

ように思われる。

今一度「院内トラブル対策読本」をご精読の上、問題が発生した場合には、こじれる前に医事処理委員会にご相談頂ければと思う。

平成22年度 第39回
平成23年 2月17日(木)
18:30～19:58

1. 会長挨拶

民主党は雪隠詰めのような状態でどうなるのでしょうか。どこで折り合うのか、折り合えないのか。予算が通っても執行が出来なければ、国民生活に大きな影響を及ぼすことになるように思います。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 厚生部共済事業部会幹事会 2月16日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) スタッフレベルアップ研修会
2月11日(金・祝)
- (2) 第7回地域連携パス ワークショップ
2月11日(金・祝)
- (3) 柚木議員との懇談会 2月12日(土)
- (4) 第11回介護保険セミナー 2月13日(日)
- (5) 玉島支部 岡田一道先生 百歳 2月13日(日)
- (6) 平成22年度岐阜県歯科医師会講演会及びシンポジウム 2月13日(日)
- (7) 支払基金幹事会 2月14日(月)
- (8) 学校歯科医基礎研修会打合せ 2月15日(火)
- (9) 第2回岡山県へき地医療支援会議
2月17日(木)
- (10) 第6回岡山県保健医療計画策定協議会

2月17日(木)

〔学院報告〕

- (1) 一般入試B日程 願書受付期間
2月4日(金)～25日(金)
- (2) 後期末試験 2月14日(月)～24日(木)

〔国保報告〕

- (1) 玉島支部 岡田一道先生 百歳 2月13日(日)

〔事務局報告〕

- (1) 県警鑑識課長 藤野氏が真庭署長に転任挨拶
- (2) 口座振替依頼書返信状況報告

3. 行事予定

本会行事	60件
学院行事	7件
国保組合行事	5件

4. 協 議

〔各種依頼事項について〕

- (1) 平成22年度第2回岡山産業保健推進センター運営協議会の開催と出席依頼について

平岩理事

日 時 3月10日(木) 15:00～17:00
場 所 岡山産業保健センター入居ビル

- (2) 平成22年度第2回岡山県食の安全・食育推進協議会の開催と出席依頼について

平岩理事

日 時 3月15日(火) 14:00～16:00
場 所 岡山県庁

委 員 平岩理事

- (3) 日本歯科医師会第2回社会保険委員会の開催と出席依頼について

伊丹常務理事

日 時 3月15日(火) 15:00～17:00
場 所 日本歯科医師会 801会議室

委 員 伊丹常務理事

- (4) 笠岡歯科技工専門学校より第44回卒業証書授与式ならびに第46回入学式の挙行と臨席依頼について

いずれも 酒井会長

【卒業証書授与式】祝電

日 時 3月12日(土) 14:00

場 所 笠岡歯科技工専門学校 講堂

【入学式】祝電

日 時 4月9日(土) 14:00

場 所 笠岡歯科技工専門学校 講堂

- (5) 順正短期大学より第43回学位記並びに第12回専攻科修了証書の授与式の挙行と臨席依頼について

祝電

日 時 3月17日(木) 10:30

場 所 順正学園第一体育館

- (6) 岡山歯科技工専門学院より第36回卒業証書授与式ならびに第38回入学式の挙行と臨席依頼について

【卒業証書授与式】藤井副会長（祝電）

日 時 3月20日(日) 14:00

場 所 岡山県歯科医師会館

【入学式】酒井会長（祝電）

日 時 4月1日(金) 13:30

場 所 岡山県歯科医師会館

- (7) 岡山県健康づくり財団より理事会の開催と出席依頼について

酒井会長

日 時 3月28日(月) 13:30

場 所 岡山県南部健康づくりセンター

- (8) 日本歯科医師会より「医療計画に関するアンケート」への協力依頼について

平岩理事対応

- (9) 日本臨床矯正歯科医会並びに同中四国支部より市民セミナー開催に伴う後援依頼について

後援承認

日 時 6月19日(日) 13:00~16:00

場 所 くらしき健康福祉プラザ

〔検討事項〕

- (1) 歯科往診サポートセンターマニュアルについて

- (2) 本会入会申込みについて

2月1日入会 承認

正会員 おおしま 大嶋 じゅん 淳（御津支部）

- (3) 「梅村長生先生の退職を楽しむ会」の開催と臨席依頼について

欠席（祝電）

日 時 4月16日(土) 18:00

場 所 名古屋マリオットアソシアホテル

5. 閉 会（鈴木常務理事）

今日の視点（東原慶和）

各部とも今期の事業の最終段階を迎えている。3月の代議員会に向けての準備は残っているものの、会の予定表の中に「打ち上げ」という文字を頻繁に目にするようになった。

今期から3年間だった任期が2年間に変更となり、その2年目の終盤を迎えた今、この1年の差の大きさを痛感している。1年目にチャレンジした事業結果を2年目には出す事の難しさ。もう1年あれば反省点を軌道修正し、翌年に生かせるような気もするのだが・・・現実には厳しい。2年間の努力が無駄にならないように、しっかりバトンを渡したいものだ。

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

岡山県歯科医師会
会長 酒 井 昭 則

東日本大震災について（お願い）

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

茫然と立ちつくす被災者の映像。思い出の詰まった我が家や街が、ガレキと汚泥に覆いつくされている。どんな思いが去来しているのか。悲しく、つらく、やるせない。絶望の淵に立たされた被災者の深い悲しみと未曾有の国難。国民が一つになり、この国の底力を発揮し被災地を支え、乗り越えなければならぬと強く感じています。

つきましては、下記支援に関するご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

・義援金のお願い

各医院の受付け等で募金箱をご活用頂きたく、お願い申し上げます。

本会への回収日時・方法等につきましては、後日ご連絡申し上げます。

・ご遺体の身元確認における新たな出動のお願い

身元確認作業は長期に亘る見込みが大きい為、今後新たに大多数の出動要請がある事も予想されます。その為、より多くの支援グループの構築が必要とされていますので、多くの先生方のご参加をお願い申し上げます。

今後も状況の変化にしっかりと対応し、的確で迅速な情報提供に努めて参りますので、会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

国民の一人として負担を分かち合う覚悟を持ち、自分たちに出来ることから
始めようではありませんか。

Monthly Dental News Review (80)

平成23年

2月10日(木) ▶ 集団フッ素洗口・塗布「安全性に疑問ある」日弁連が中止求め意見書

集団フッ素洗口・塗布について、有効性、必要性、実施上の安全性などに疑問があるとし、中止を求める意見書を日本弁護士連合会(宇都宮健児会長)が1月21日に発表した。意見書は今日2日に厚労相・文科相、環境相に提出している。

〈略〉

意見書では、安全性について、フッ素洗口・塗布には急性中毒・過敏症状の危険性があり、フッ素の暴露量、年齢、体質等によっては、歯のフッ素症(斑状歯)の危険性も否定できず、全身への懸念も払拭されていないとの見解を示した。

日弁連の意見書は精査している段階

厚労省

厚労省医政局歯科保健課は、本紙の取材に対し、日弁連の集団フッ素洗口などの意見書について「う触予防には多様な方法があり、各地域で実情にあった対応が行われていると考えている。日弁連の意見書の内容については、現在、精査している段階」とコメントした。

15日(火) ▶ 歯科衛生士の業務 歯科界が狭く解釈

岐阜県歯のシンポで石井教授が指摘

「歯科衛生士業務の範囲を狭く解釈しているのは、当の歯科界なのではないか」。13日に開かれた岐阜県歯科医師会(高木幹正会長)の「歯科衛生士の業務について」と題する講演会・シンポジウムにおいて、石井拓男(東京歯科大学教授(社会歯科学))が基調講演で問題提起した。

〈略〉

石井教授は、歯科衛生士法制定の経緯から歯科衛生士業務のうち、特に診療の補助について解説。歯科衛生士法で規定されている「歯科医師による直接の指導」の文言は、予防処置のみ適用されるもので、診療の補助には適用されていないことを明らかにした。

その上で、歯科口腔領域の傷病に対して、歯科医師の指導によって行われる診療の補助の範囲は、保健師助産師看護師法の例外によって歯科衛生士に認められているものであり、看護師の診療の補助と同等であるとの見方を示した。

17日(木) ▶ 咬合・咀嚼機能検査 先進医療に導入

有床義歯にかかわる歯科で7例目

中医協は16日に開いた総会で、有床義歯による咀嚼機能の回復に必要な歯の欠損症例に対して行う「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」を先進医療として導入することを了承した。有床義歯による歯科にかかわる先進医療は7例目。

2月23日(水) ▶海外技工訴訟
最高裁が上告棄却
原告側が声明
「引き続きの努力を」

歯科技工の海外委託を放置していたのは国の責任として、歯科技工海外委託問題訴訟原告団(脇本征男団長)と同弁護士(川上詩朗団長)が上告していた訴訟について、最高裁判所第三小法廷(大谷剛彦裁判長)は15日、上告を棄却し、「上告審として受理しない」との判決を下した。

〈略〉国民の健康を守るべき責務を有する国は、十分な実態調査を行わず、歯科技工の海外委託を認めた上でその責任を歯科医師に転嫁し、国としての施策は何もせず放置している状態であった。

24日(木) ▶厚労省・医道審 医師ら41人行政処分 殺人未遂の歯科医免許取り消し

厚労省は23日、医道審議会医道分科会の答申を受け、犯罪や不正を行った医師31人、歯科医師10人の行政処分を発表した。処分の効力は3月9日(一部は10日)から。

歯科では、殺人未遂で懲役2年8カ月の刑が確定している歯科医師が免許取り消しになったほか、所得税法違反で懲役1年2カ月、執行猶予4年、罰金400万円の歯科医師は歯科医業停止1年6カ月、大麻取締法違反で懲役6カ月、執行猶予2年の歯科医師には歯科医業停止1年。

3月2日(水) ▶日歯・役員人事「4月以降、理事者減らす」

大久保会長 全国会長会議で可能性を示唆

日本歯科医師会の大久保満男会長は、4月以降の第3次大久保執行部の役員人事について、理事者を減らす可能性を示唆した。2月25日の都道府県会長会議の冒頭あいさつで述べたもの。

〈略〉大久保会長は、理事者を減らす背景の一つに財政問題挙げた。「昨年から会員数が減少傾向にある。終身会員が増加する中、入会者が劇的に増加しない限り、財政状況は厳しくなる一方だ」と述べた。その上で「まだ決めたわけではないが、指名理事を減らして、財務状況を少しでも好転させるかもしれない」との考えを示した。

3日(木) ▶フッ素洗口の日歯見解 考え示す意向、池主常務明かす

日本歯科医師会の池主憲夫常務理事は、日本弁護士連合会が発表した「集団フッ素洗口・塗布の中止を求める意見書」への対応について、日歯として見解を示す考えがあることを明らかにした。2月25日に開かれた都道府県会長会議の席上で述べたもの。

9日(水) ▶歯根膜の冷凍保存 CAS技術が標準に
第1回国際細胞凍結研
再生の可能性討議

歯根膜の良質な冷凍保存に向け、食品流通の世界では国際的に広がっているCAS技術を応用する方法が今後のスタンダードになりつつある。東京都内で6日に開催された第1回国際細胞凍結研究会(世話人・河田俊嗣、広島大学准教授)で発表された。抜去歯牙の凍結保存と自家移植による臨床応用については、10年以上前から新潟大学歯学部などを中心に行われてきたが、歯根膜の良質な冷凍保存は最大の技術課題であった。

第22回 社会保険部検討委員会報告

平成23年2月5日(土) 16:00～17:30

1. 報 告

1) 1月新入会員 正会員1名

2) 支払基金幹事会 1月17日(月) 酒井会長

平成22年10月診療分

・前年同月対比 支払額: 99.4% 件数: 101.4%

・前月対比 支払額: 107.4% 件数: 105.3%

平成22年9月診療分レセプト1件当りの平均点数

・本人 岡山県 1,301.0点 全国平均 1,305.8点

・家族 岡山県 1,041.1点 全国平均 1,094.1点

3) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会

1月25日(火) 伊丹常務理事 新規指定医療機関 5 医療機関

4) 社会保険部小委員会

1月26日(水) 伊丹常務理事, 小林・西岡理事, 後藤委員長, 石戸・田頭副委員長

5) 中国四国厚生局岡山事務所と面会

1月27日(木) 酒井会長, 大嶋専務理事, 伊丹常務理事, 小林・西岡理事,
後藤委員長, 石戸・田頭副委員長

6) 平成23年2月 保険医療関係機関連絡会議 2月3日(木) 小林・西岡理事

7) 社保相談窓口報告

8) 国保審査委員会報告(岡山県歯科保険医療費)

平成22年9月診療分レセプト1件当りの平均点数

・岡山県 国保 1,367.0点 後期高齢者 1,573.1点

・前年同月対比 国保 100.8% 後期高齢者 100.2%

2. 行事予定

1) 集団指導(新規指定保険医療機関・新規登録保険医)

2月10日(木) 15:00 薬業会館

2) 平成22年度介護保険事業者集団指導

2月14日(月) 15:00 2月15日(火) 15:00

3) 平成22年度第2回審査委員・検討委員連絡協議会

3月5日(土) 16:00 コンフォートホテル岡山

4) 日本歯科医師会第2回社会保険委員会

3月15日(火) 15:00 日歯 伊丹常務理事

3. 協 議

1) 検討委員会よりのお知らせ

2) 「審査委員・検討委員連絡協議会」提出議題について

岡山大学医学部麻酔科卒後臨床研修センター見学



平成23年2月24日、岡山大学病院で医学部麻酔科蘇生科の武田吉正講師の案内の下、研修医センターの見学の機会をいただきました。参加者は、毛利理事を始め、学術部正副委員長と救急蘇生班班長の竹林先生の6人でした。

まずは、コンピュータ制御の救急蘇生実習用人形の説明を受けました。血圧や脈拍が触れるのは勿論のこと、呼吸音やスピード・胸郭の動き、酸素分圧、舌の腫脹や薬剤投与の反応まで生体の反応を疑似体験でき、シミュレーションモデルとしては最高レベルのものでした。PC制御でのシミュレーション人形がもう一体別の実習室にもあり、こちらのほうは車などに搭載して、将来的には各医院まで行き、そこでのチームシミュレーションも可能であるとの説明を受けました。気管内挿管や静脈路確保、気管切開の実習設備などもあり、様々な訓練が受けることができるようになっていました。

また、3Dで頸部の解剖状況が観察できる設備も備えられていました。50インチほどある大型液晶テレビの前で3D眼鏡をかけて見ると、目の前に実際に頸部の解剖が飛び込んできて、拡大も自由に出来、非常に見やすく、理解しやすいように思いました。

見学と各設備の説明の後、歯科麻酔科の宮脇教授らと一緒に話し合いがもたれ、今後の施設の活用についての可能性を聞くこともできました。



平成24年度には、大学の敷地内に歯科用ユニットを備えた研修施設として新設され、外部からも研修の受け入れができるようになるとのことです。現在は、麻酔研修医やオペ室の看護師の救急時の対応、チームシミュレーションに使用されているとのことでしたが、将来的には、病院内や診療所内での患者

の急変に対応できるよう、歯科医師会会員、スタッフ向けにトレーニングを受けることも出来るようです。緊急時には、自分ひとりでは、何も出来ないため、院長を含めたスタッフ全員で対応しなければなりません。安心・安全の歯科治療を行うためにも、将来的にこの施設が会員にとって役立つのではないのでしょうか。そのための準備を進めていくことを武田先生と確認いたしました。



(委員長 清水裕雄)

報 告 学 術 部

◎第13回正副委員長会：2月1日(火)

1. ICLS コースの打合せ
2. 図書貸出し書籍のチェック、申請書の検討
3. 救急蘇生備品の整備、購入

◎第29回日本接着歯学会（鈴木，毛利）

：2月5日(土)

◎岡山県歯科医師会ICLSコース：2月6日(日)

参加者 10名

◎第14回正副委員長会：2月22日(火)

1. 新規購入本について
2. 貸出し申請書校正、貸出し書籍チェック、貸出し内規作成

3. 日歯生涯研修事業Eシステム活用資料

「誰でもできる単位登録」の作成

4. 救急蘇生備品購入、整備マニュアルの作成

5. 救急薬品の使用法、救急処置の実習について

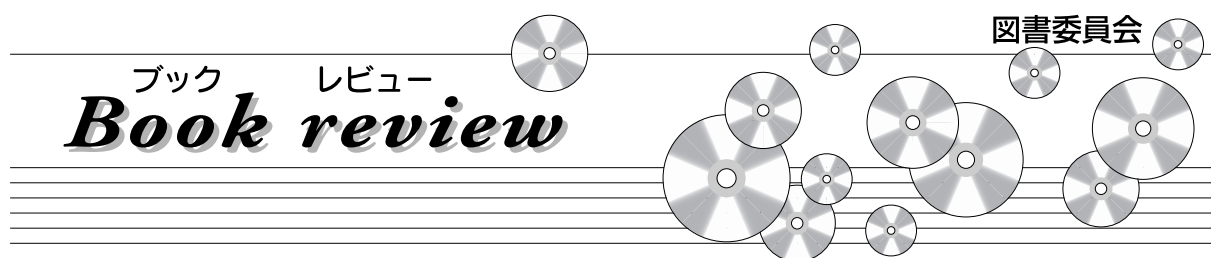
6. H22年度第2回学術部部会内容、役割分担

◎岡大医学部麻酔科シミュレーション人形の 見学（毛利，清水，小野，中島，居樹，竹林）

：2月24日(木)

◎第15回正副委員長会：2月28日(月)

1. 学術部部会リハーサル
2. 図書貸出し内規校正



包括的歯科治療へのアプローチ

砂書房 林 治幸 著

一般臨床において、患者に最適な治療を提供するためには、歯周治療・補綴処置・矯正・顎関節等、広い視点に立ち全体をまとめあげていく作業、すなわち細分化した治療を、ひとつのゴールに向かって、患者にとって最も適切な形にまとめあげる包括的歯科治療が必要となることは言うまでもない。

本書には多数の症例が掲載されており、個々の事例に著者がどのように取り組んだのか、応用的な技術を含めて治療に対する考え方まで、大いに参考になるところである。

包括的治療戦略 —修復治療成功のために—

医歯薬出版株式会社 土屋賢司 著

著者がこだわり続けている「診査・診断」と「治療計画の立案」の重要性を補綴治療までを含めた「包括的治療戦略」としてわかりやすく解説している。

Chapter1においては、この包括的治療戦略の重要性について、Chapter2では、治療計画立案に必要な診査・診断のポイント、Chapter3では、審美修復治療、インプラント治療、インターディシプリナリーアプローチにおける治療戦略について、そしてChapter4では、症例を提示しながらChapter1~3で述べた内容を再確認している。特に診断力を中心に、技術についても各所に記されており歯科医師としての総合力を高めるためには最適の書といえる。

歯内療法のインデザイン

デンタルダイヤモンド社 青木慎一郎 著

歯内療法は近年、歯内領域の器材、薬剤、テクニックの進歩が目覚しく、効率的で正確・安全な歯内療法の実現は確かなものになってきました。そこで進化を続ける歯内療法の「どんな器材を利用したら効率化できるか?」「どの薬剤を使用したら根管内外の消毒が徹底するのか?」「どのようなテクニックを駆使したら臨床のレベルアップがはかれるのか?」などの疑問に答えられるよう、器材・薬剤・テクニックに整理して記載されています。

著者も著名な先生が多く、非常にためになります。2006年の刊行であり、2010年の現在には多くのシステムと器材が増えていますが、NiTiファイルの基本は現在も同じなのでエンドに悩んだら読んでみるといい本と言えるでしょう。

外傷歯の診断と治療

クインテッセンス出版株式会社 月星 光博 著

歯あるいは歯周組織に外傷力が加わると、その方向と大きさの違いなどにより、様々な破壊が歯と歯周組織に生じる。歯の外傷は、「破折性の外傷」と「脱臼性の外傷」の2つに大別される。

「破折性の外傷」は歯の硬組織の損傷をさし、「エナメル質の亀裂」「歯冠破折」「歯冠 - 歯根破折」「歯根破折」に細分される。

「脱臼性の外傷」は歯根膜の損傷をさし、「振盪・亜脱臼」「挺出性脱臼」「側方性脱臼」「脱離」「埋入」に細分される。

さらに、軟組織の裂傷や歯槽骨の骨折といったことも外傷によって生じる。

このように外傷といっても様々な病態を示し分類されるわけであるが、問診、口腔内写真、エックス線写真検査、歯科用コーンビーム検査などにより正確に診断できるようになってきた。正確な診査を行うことで診断が確実になり、どのような治療を行うべきかの指標になるだろう。これは筆者が述べているように、不必要な抜髄あるいは抜歯を行うことを避けることができる、必要最小限の外科的侵襲で患歯を救うことができるミニマル・インターベンション (MI) につながるであろう。11カ国で翻訳出版された増補新版で、「診査・診断」「治療方針」「治療の流れ」を各外傷で解説されており、歯科臨床の教科書である。

歯科と金属アレルギー

デンタルダイヤモンド社 井上昌幸 著

昨今のアレルギー疾患の増加に伴い、皮膚疾患を有する患者や、皮膚科医等の金属アレルギーに対する関心が高まっている。その中で我々歯科医師は、口腔内に装着するクラウンの他多くの金属を使用する関係上、金属が生体に与える影響についての正しくかつ詳細な知識を持つことが必要とされている。

本書では、金属アレルギーの臨床全般と、歯科診療時の対応、また免疫ならびにアレルギーに関する基礎知識について詳しく解説されている。

若手歯科医のための臨床の技50 歯内療法

デンタルダイヤモンド社 山田國晶 著

2010年に県歯科医師会で根治の実習付き学術集談会で好評を得た山田先生の最新書籍です。

根管形成のポイント・注意点が満載、機材についても詳細に記載されていて、さらには根充、インプラントについての山田先生のすべてが記載されているといっても過言ではないと思いますが、項目毎の記載のため、ある程度の根管治療の基礎知識が必要な本だと思います。エンドの更なるレベルアップを叶えてくれる一冊です。倉敷の森慎吾・麻衣先生も共著です。

平成22年度 スタッフレベルアップ研修会報告



かわらず、会員の先生方を始め、歯科衛生士、歯科助手等114名の参加があった。

平成23年2月11日(金)、上記研修会が県歯会館5階大ホールに於いて開催された。

今回は、マネジメントサポートグループの喜多朋子先生をお招きし、「院内コミュニケーション向上のために」と題して御講演頂いた。当日は、朝から市内でも今年初の積雪があったにもか



講演は、3つのテーマでの実習・参加型の研修形式で進められ、以下にそのテーマと要点を示す。

1. <スタッフ間のコミュニケーションのあり方を考える>

- ・ただ情報伝達を目的とした仕事志向コミュニケーションだけでなく、人間関係の維持と強化を目的とする情緒的コミュニケーションが必要である。
- ・情緒的コミュニケーションには言葉を使わない、目や身振り・手振りで伝えるという“ノンバーバルコミュニケーション”が有効な方法である。

2. <自己のコミュニケーションの傾向から強みと弱みを知る>

- ・自己理解と他者理解を深め、より良い人間関係を構築する1つの手段として、エゴグラムという性格診断表を参加者各自作成し、客観的な自己分析を行った。
- ・エゴグラムの結果から自己の強みと弱みを知り、院内のスタッフ間への関わり方を考え、ひいてはより良い人間関係を構築するヒントとする。

3. <コミュニケーション力を向上させ、仕事の質の向上と歯科医院の活性化につなげる>

- ・自己の意思・意見・気持ちを素直に相手に伝え、相手の尊厳を傷つけずにわかりやすく意志の疎通を図る“アサーティブ・コミュニケーション”を心がける。
- ・自己主張的表現（アサーティブ）、受身的表現（ノンアサーティブ）、攻撃的表現（アグレッシブ）を具体的な事例で比較実習し、その受け止め方を考察した。
- ・“聞く”と“聴く”の違い、特にアサーティブな“聴き方”のポイントを示した。

スタッフは歯科医院において、患者と歯科医師を繋ぐ不可欠な存在であり、相互のコミュニケーションが良好であればあるほど患者満足度は向上する。親睦＝コミュニケーションではなく、改めて院内コミュニケーションの大切さを知る上で大変わかりやすい内容の講演であった。

尚、今回の講習会はビデオ撮影し、DVDを作成して貸出を行っていますので、ぜひご活用下さい。また、エゴグラムに興味のある方は下記のURLをご参照下さい。

50問の簡単な質問に答えれば、(占いより良く当たる!?) ご自身の性格がわかります。

<http://www.egogram-f.jp/seikaku/>

(副委員長 西田明弘)

入院共済金の申請を5月31日までに

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）中に、医療施設へ入院された方は、本年5月31日までに本会へ入院共済金の給付をご申請くださるようお願い致します。入院初日より5日間は免責期間（1入院ごと）になります。期日を過ぎますとお支払いできない規定になっていますのでご注意ください。

（平成23年3月から4月に亘って入院の場合は、3月31日までの入院について申請して下さい。）

「県歯新共済」施行細則 一部改正のお知らせ

3月2日(水)に開催された共済事業部会委員会において、標記細則の一部改正案が承認されましたので、お知らせいたします。

- ・第6条「会員が死亡した時は、その年度の共済年会費は納付しなければならない」が削除されました。
- ・第9条 入院共済金の免責期間が入院初日より 5日間→3日間に変更されました。
- ・第10条「会員が満100歳に達した場合は、特別慶祝金を給付する」が新設されました。
- ・第13条 共済年会費，給付金額についての検討や修正は 2年毎→随時に変更されました。

この一部改正は、平成23年4月1日より施行されます。

倉敷・児島・玉島・都窪・吉備支部

平成22年度介護保険セミナー報告 「お口から生きる喜びを」

宝田恭子の老けない作法（誰でもできる表情筋エクササイズ）



平成23年2月13日くらしき健康福祉プラザにおいて、宝田歯科医院院長 宝田恭子先生をお招きして第11回介護保険セミナーが行われました。このセミナーも11年目を迎え、表題も10年間続いた「いのちを守る口腔ケア」から「お口から生きる喜びを」にリニューアルし、新たな一步を踏み出す節目の日となりました。

季節柄、寒さも厳しく、3連休の最終日曜、雪もちらつく悪天候にもかかわらず、歯科関係者195名を含め計260名を超える参加者があり、講師の先生の人気の高さも改めて感じました。特に内容柄、年齢を問わない歯科医師以外の女性の参加者が多

数みられ、会場は満席状態で華やいていました。

冒頭に、ご高齢の御夫婦の金婚式の写真を御紹介されました。夫婦そろって健康できれいなお姿の写真でした。実際に介護の現場では、とても稀な状況ですが、これからの心がけ次第で老けずに健康でいられます。その秘訣を、わかりやすく実習も含めて教えていただきました。介護対象者のみならず、自分たちに対する「老けない作法」としても大変役立つ講演でした。

①老化について

上條先生の口腔解剖学の理論にもとづく解剖学的経時的老化には重力が関係しているので、例えば歯科医師のいつも働いている下方を向いた前傾姿勢では、筋肉をはじめとする組織が下垂し、どんどん老け顔になっていく。重力に逆らうように姿勢を正しくすることが大切である。

②口元のアンチエイジングについて

唾液の成分により、よくかんで唾液をたくさん出すことは、肥満防止につながり、活性酵素の働きで老化防止、病気になりにくい、さらに歯周病予防効果が現れる。唾液を飲むことも首の筋肉の運動に大いに役立つ。エクササイズとしては、舌を口の中で回し、2時と8時の位置でストップさせる。鼻唇溝（ほうれい線）を内側から押さえて伸ばすようにすると効果的である。また、親指を上顎大臼歯頬側にいれ、指先を頬骨の辺りにそえて皮膚を挟み込み、頬全体を口角までさすり、さらに口角から頬骨にさする、という運動も効果的である。一日の疲れやしわにアイロンがけをするイメージで行う。さらに義

歯装着時の安定のためにも患者へ頬筋の運動をお勧めしている。

③鼻呼吸、適正睡眠の大切さ

口腔乾燥の予防，ウイルスなどの細菌からの防御の面で，口呼吸より鼻呼吸を心がける。疲労回復を促す成長ホルモンは睡眠時に出現する。

④生きる喜びのために

どうでもいいと思った時点で老化が進むため，「清潔」や「きれい」を追求していったほしい。お化粧やファッションを用いることが困難な男性こそ，美に対する認識を高めるべきで，いつも黒いスーツに水玉のネクタイと決まっているのではなく，ポケットチーフの色まで心配りをしたい。先生御自身の姑が顔面神経麻痺になられた時，必死に顔面エクササイズを続け，発症後6ヶ月程度で左右差があまり分からなくなったというエピソードもある。今後の摂食機能療法も，志を持ってしっかりやっていけば，出口もあるのではないかという気がした。

講演中，気が緩むことなど一切なく集中して時間が過ぎ，歯科医師，歯科衛生士，看護師，療法士，ケアマネージャーなど，職種を超えて，会場の全員が付属の手鏡や歯ブラシを片手に同じエクササイズをしている風景を見たとき，少し滑稽な反面，まだまだ歯科医療も未開拓の分野やみんなで協力できる分野があり，関係者一同一丸となって発展できる業界であることを確信いたしました。とても有意義な講演となり，講師の宝田先生，関係者の方々，出席者の方々に深く感謝をいたします。

(児島支部 河田久美)



第51回卒業証書授与式

寒い朝でしたが快晴に恵まれ春の日差しが感じられた3月5日(土)、第51回卒業証書授与式が挙行されました。会場の5階大ホールには御来賓・保護者をはじめ関係者約250名が参列、厳かな中にも喜びに満ちた卒業生55名の笑顔が一段と輝いておりました。

竹下信義教務部長よりの学事報告では、3年間の充実した授業・臨床実習・学外行事により人間的に美しく成長できたこと等の報告がなされました。

続いて小林敏郎学院長より卒業証書が一人ひとりに授与され、各種表彰では51期生の3年間の努力の顕れである3年間無遅刻無欠席の皆勤賞8名、欠席が3日以内の精勤賞22名も表彰されました。そして卒業生一人ひとりの目を見つめながら11年間の学院長生活を締め括る告辞を次の如く行われました(要旨)。小林先生は平成12年(2000年)4月に岡山高等歯科衛生専門学院長に就任され、11年間にわたって学院長を務められました。その間平成18年には全国的にも早い段階で学院を2年制から3年制へと充実したものとされ、このたび御勇退されることとなりました。

【学院長告辞要旨】



櫻の花散りじりにしも別れゆく遠き一人と君もなりなん。

君たちは今日、自分で選んだ道へそれぞれ羽ばたいてゆく。医療に携わる人間の基本姿勢である人命の尊重と患者への献身を胸に、学院の卒業生であるという矜持を忘れず歯科衛生士の道を堂々と歩め。愚直懸命な日々の努力こそが明るい明日を拓く。

才子、才をたのんで才ならず。愚者、愚を守りて愚ならず。

天性のすぐれた能力にすがってはいは才知ある人間とはなり得ない。併し才を自覚した上での努力は素晴らしいものだろう。他方自分の愚を十分に認識した上で不屈の努力を重ねる、これも又、将来を約束する大きな力となりうるものである。

社会から信頼され、自分の仕事に自信を持ち、生きる喜びを感じる。その事が働くプライドを支え自分の生きる意味を肌で感じさせてくれると私は信ずる。日々の精進を願って止まない。今、巣立ち行く君たちの前途に幸多かれと祈る。

さらに御来賓の酒井昭則岡山県歯科医師会会長より「母校や同窓生の先輩は皆さんを温かく見守っておられる。足をしっかり地につけて頑張りたい」と祝辞がのべられ、さらに松尾龍二岡山大学歯学部部長、平田眞一岡山県専修学校各種学校振興会会長、武田明美岡山県歯科衛生士会会長より心温まる御祝辞を頂きました。加えて各方面より多数の御臨席を賜り、また御祝電も多数の方より頂戴しました。

保護者の方をはじめ参列者一同深く感動され鹿島教務主任や専任教員も感極まっておりました。岡山県歯科医師会会員の先生方を始め、関係諸団体の皆様に御指導いただき専門的な知識と技術の習得はもちろん人間的にも成長することが出来ました卒業生は、この貴重な体験を活かして県民の口腔衛生の向上に貢献し、活躍してくれることを願っています。卒業生55名全員、元気よく希望に胸を膨らませ学院を巣立っていきました。

(教務担当講師 藤澤達郎)



小林学院長



酒井県歯会長



松尾岡山大学歯学部長



武田岡山県歯科衛生士会会長



岡山高等歯科衛生専門学院 第51回卒業証書授与式 平成23年3月5日

岡山高等歯科衛生専門学院
第51回卒業証書授与式

「お師匠さんと義理の父」

岡山支部 井上 謙

突然ですが私にはお師匠さんがいます。

大阪府東大阪市で御開業の本多正明先生です。

皆さんご存知の方も多いかと思いますが、本多先生は全国的に高名な臨床家で、補綴専門医です。私は、3年ほど前から2カ月に1度くらいの頻度で本多先生のオフィスに見学に行き、勉強させて頂いています。その卓越した技術と、歯科臨床に対する誠実な姿勢にいつも頭が下がります。そして、その素晴らしい症例の数々にはただただ驚くばかりです。

見学の際には、本多先生の歯科の知識、技術だけでなく「医療人としての在り方」「患者さんとの接し方」なども拝見でき、大変勉強になります。

また、本多歯科では、副院長の本多浩二先生にも、インプラント、ペリオなどについて、院内ラボの技工士の先生ことに方にも補綴や、ラボワーク、咬合などについて教えて頂き、まさに「全ての人がお師匠さん」といった感じです。



さて、そんな本多正明先生との出会いですが、きっかけは私の妻の父でした。義父が本多先生のことを知っており、紹介してくれました。

義父は3年前に病気で亡くなりました。病気の末期、病床についている頃、点滴を受けながら本多先生に電話をしてくれました。「まあチャン（義父は本多先生のことをこう呼んでいました）、息子と娘をよろしく頼むな」

病気で本当に苦しいはずなのに、私たちのために必死で頼んでくれました。自分の最期が近いことを悟り、まだまだ半人前の私たちをみて心配になったのかもしれません。

今思い出しても胸がいっぱいになります。

義父が亡くなったのち、私たちは岡山市で開業しました。少しずつですが、勉強も続けています。春には子供も生まれます。今の私たちの姿をみて天国で義父はどう思っているのでしょうか。

先日、義父の3回目の命日でした。仏前でそんなことを考えていると、「お前らまだまだ半人前やで。もっとまあチャンに鍛えてもらわなあかんわ」・・・そんな義父の声が聞こえてきた気がしました。

天国の義父に心配をかけないためにも、いつも温かくご指導くださるお師匠さんたちの親切に報いるためにも、未熟な私たちを信頼して当院に通って下さる患者さんのためにも、生まれてくる子供のためにも、もっともっと頑張らなくては、と思う今日この頃です。

次回は松尾憲司 先生（岡山支部）をご紹介します。



訃

報



故 日下 一知 先生

享年87才（平成23年2月6日ご逝去）

備前市日生町日生1267



故 山室 英夫 先生

享年93才（平成23年2月22日ご逝去）

井原市美星町三山1001

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

会 員 異 動

2 月末日現在 正会員数1,040名

◎新入会員

近常 正 正会員 P16 岡山支部



ちかつね歯科医院

〒703-8275

岡山市中区門田屋敷1-7-34

TEL (086) 272-0794 (FAX兼用)

村上 知 正会員 P21 岡山支部



ちゅうりっぶ歯科

〒700-0973

岡山市北区下中野717-104

TEL (086) 241-2525 (FAX兼用)

◎退会

井上 弘志 正会員 P8 岡山支部

◎死亡

日下 一知 正会員 P49 和気支部

山室 英夫 正会員 P56 小田支部

(P = 会員名簿のページ)

4月の収納金

1. 本 会

- (1) 診療報酬割負担金（社保、国保1月診療の窓口分を含む総診療費の
 $\frac{2.8}{1000}$ を社保分から控除）
- (2) 平成23年度本会会費第1期分 35,000円
- (3) 歯科医師賠償責任保険料 1医療機関につき 2,600円

2. 全国歯科医師国保組合

- (1) 収入割，均等割保険料調定額
- (2) 収入割保険料（平成22年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

- (1) 年金拠出金（5月分）
- (2) 福祉共済負担金（5月分） 8,500円

2月 会の動き

1日 編集委員会 学術部正・副委員長会	7日 第29回北方領土返還要求岡山県民大会
3日 理事会 新世紀おかやま母子保健計画中間評価検討会 議 保険医療関係機関連絡会議 第3回学校保健推進協議会 順正学園吉備国際大学短期大学部との面会	8日 日学歯 三役会
4日 健康おかやま21推進会議 岡山県地域・職域保健連携推進協議会 本会学院 第2回学院運営協議会	9日 編集委員会 選挙管理委員会 日本学校歯科医会加盟団体長会議 日学歯 理事会
5日 社保 審査・検討小委員会 社会保険部検討委員会 第29回日本接着歯学会学術大会懇親会 新見支部新年会	10日 理事会
6日 文化事業部会レクリエーション大会（スキー・スノーボード） 救急蘇生インストラクター養成コース 学院同窓会創立50周年記念祝宴	11日 スタッフレベルアップ研修会 第7回地域連携パス ワークショップ
	13日 玉島支部 岡田一道先生百歳お祝い 広報部取材 第11回介護保険セミナー 平成22年度岐阜県歯科医師会講演会及びシンポジウム（岐阜）
	14日 支払基金幹事会
	15日 学校歯科医基礎研修会打合せ
	16日 共済事業部会幹事会
	17日 理事会 編集委員会

第3回福祉共済会総会	学術部正・副委員長会
第6回岡山県保健医療計画策定協議会	中国地方社会保険医療協議会岡山県部会
第2回岡山県へき地医療支援会議	23日 日本歯科医師会第5回定款等改正臨時委員会
中四国厚生局岡山事務所と面会	国保組合 平成22年度第3回本部理事会
18日 社保研修会	24日 第12回中規模県歯科医師会連合会
岡山県国民健康保険団体連合会理事会	第2回在宅支援推進協議会
岡山県後発医薬品の安全使用のための協議会	岡大医学部麻酔科シュミレーション人形の見学
「岡山県民の歯と口の健康づくり条例（案）」に係る関係者説明会	倉敷歯科医師会定時総会
19日 文化事業部会移動部会	25日 第111回都道府県会長会議
20日 岡山県介護保険関連団体協議会介護保険セミナー	26日 本会監事会
高齢者を支える地域医療連携シンポジウム	予算決算特別委員会
21日 調査・公衆合同委員会	井原支部総会・懇親会
社保研修会	27日 清水計恵太先生 旭日小綬章受賞祝賀会
22日 編集委員会	本会学院 第20回歯科衛生士国家試験

4月・5月 本会の予定

4月1日 編集委員会	13日 編集委員会
岡山歯科技工専門学校第38回入学式	20日 編集委員会
2日 本会学院第54回入学式	22日 編集委員会
9日 笠岡歯科技工専門学校第46回入学式	

歯科医師国保からお知らせ

事務所休所について

下記期間中、職員事務研修のため、国保組合事務所を休所させていただきます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承下さいますようお願い致します。

期 間 平成23年 4月22日(金)～ 23日(土)

4 月 ・ 5 月 支部の予定

4 月 1 日 岡山歯科技工専門学校第38回入学式

7 日 津山支部定例会

9 日 笠岡歯科技工専門学校入学式

12 日 新見支部理事会

13 日 真庭支部理事会

15 日 都窪支部理事会

16 日 御津支部春季総会

19 日 小田支部勉強会

21 日 倉敷支部臨時総会

真庭支部総会

23 日 都窪支部定例会・総会

27 日 津山支部理事会

5 月 10 日 新見支部理事会

12 日 津山支部定例会

19 日 勝・英支部定例会

24 日 津山支部理事会

25 日 津山支部旅行（～26日）

* はこちら編集室 *

中 村 『 徳 』

慶男 岡田一道先生、満100歳本当におめでとうございます。大正、昭和、平成と激動の人生を歩んでこられ、今も尚、かくしゃくとしておられる姿には頭が下がります。きっとたくさんの徳を積んでこられたに違いありません。

岡田先生からみて、今の日本はどう映っているか聞いてみたい気がします。日本人の美德としてあげられる「意地」と「潔さ」が履き違えられているような政局です。無理だとわかった約束は国民に謝罪して理解を求めるべき「潔さ」はなく、「意地」になって将来のことを考えず無理を通そうとする。また、日本を良くしようとする「意地」は捨てて、旗色が悪くなると「潔さ」を盾にあたかも自分の将来を守るがために責務を投げ出してしまう。国民全体が日本の未来にどんどん不安を募らせていることがわかっているはずなのに…ほとんどの人が憤りを感じていると思います。

4 月になり、県歯や支部で新しい執行部が活動を始めます。徳を持った有能な先生方の集まりですので、これからも引き続き、少しでも良い方向へ向う活動をしてくださるものと確信しています。

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定

×印 閉館予定

4月	3日(日)	10日(日)	17日(日)	24日(日)	29日(金・祝)	
	×	×	×	×	×	
5月	1日(日)	3日(火)~5日(木)	8日(日)	15日(日)	22日(日)	29日(日)
	×	×	×	×	×	×

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

第18回日本歯科医療福祉学会学術大会および総会

1. テーマ：地域医療連携 一人々の健康と生活を支える連携とはー
2. 期 日：平成23年 5月15日(日)
3. 場 所：岡山大学 創立五十周年記念会館（津島キャンパス）
4. 日 程：平成23年 5月15日(日)
 - 9：00～9：30 総 会
 - 9：40～10：30 教育講演Ⅰ「地域医療連携における口腔管理ー香川シームレスケア研究会の取り組みー」
演者：木村年秀（香川県 観音寺市 三豊総合病院 歯科保健センター 歯科口腔外科医長）
 - 10：40～11：30 教育講演Ⅱ「地域福祉からみた歯科医療」
演者：緒方克也（医療法人 発達歯科会 おがた小児歯科医院 理事長・岡山大学 臨床教授）
 - 11：30～12：00 ポスターセッション
 - 12：00～12：50 ランチョンセミナー
「地域生活期の摂食・嚥下機能を守るー歯科からのアプローチ」
演者：石田 瞭（東京歯科大学 摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科 講師）
 - 13：00～14：20 市民公開講座
「今あらためて考える父性・母性（子どもと家族のコミュニケーションへの希望を求めて）」
演者：佐々木正美（川崎医療福祉大学 特任教授）
 - 14：30～16：10 シンポジウム「岡山市内での医療連携の現況」
(1)演者：角谷真一（かどや歯科医院 歯科医師）
(2)演者：松尾敬子（国立病院機構 岡山医療センター 歯科衛生士）
(3)演者：森光 大（医療法人 青木内科小児科医院 あいの里クリニック 管理栄養士）

参加費：歯科医師・医師：¥4,000, 歯科衛生士・他：¥1,000, 学生：無 料

連絡先：TEL・FAX：086-235-6817

『マナー研修』開催のご案内

～歯科医療スタッフ対象～

岡山市北区表町 1-7-15
株式会社 あさひ合同会計
代表取締役 高木 正男

このたび弊社では、歯科医療関係業務に従事するスタッフを対象とした『マナー研修』を開催することになりました。

弊社では、顧問先の歯科医院からスタッフ教育に関するご相談を受けることが多数あります。また、よくある新人研修では実践力が身に付かないとお困りの声も多く聞かれます。今回の研修は、応対接客の基本とポイントを、**ロールプレイング形式**（実際に体を動かしながら）により体験していただける内容となっております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<セミナー内容>

(1) 医療人のための接遇基本講座

患者さんに満足していただける応対を目指して、接遇の心構えと基本を、ケア・トレーニング（「身体的印象」「動作的印象」「顔的印象」「声的印象」など）を通じて身につけて頂きます。

(2) 医療人のための応対接客講座

2～3人をペアとし、受付、待合室、呼出、ご案内、会計、お見送り、後片付けといった場面ごとのロールプレイングを通し、患者さんから期待される心のこもった応対方法を身につけて頂きます。

- 講 師 株式会社あさひ合同会計 神崎 涼子
- 日 時 平成 23 年 5 月 11 日（水） 14：00～17：00
- 会 場 (株)あさひ合同会計 3F セミナールーム
(岡山市北区表町 1-7-15 パークスクエア SHOWA 3F)

※会場に立体駐車場がございますが、駐車料金は各自でのご負担をお願いします(1 時間 300 円)

- 参 加 費 5,000 円
- 定 員 15 名（先着順、1 医院 2 名までとさせていただきます）
- お申込み方法

参加ご希望の方は、平成 23 年 4 月 28 日（木）までにご連絡ください。申込書を F A X でお送りさせていただきます。なお、定員に達した時点で締め切らせて頂きますので、お早めにお申込ください。

<問い合わせ先>

株式会社 あさひ合同会計
歯科研究会 原田・戸部
Tel 086 (226) 5566
<http://www.asahi-gk.co.jp>

患者さまの満足度100%を目指して!!

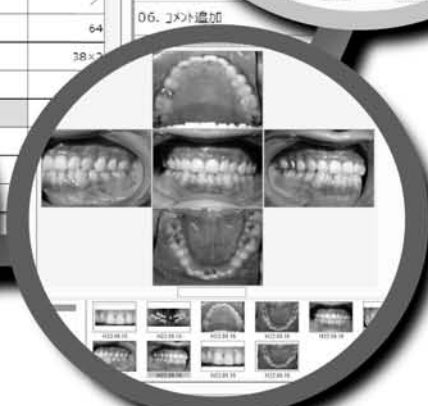
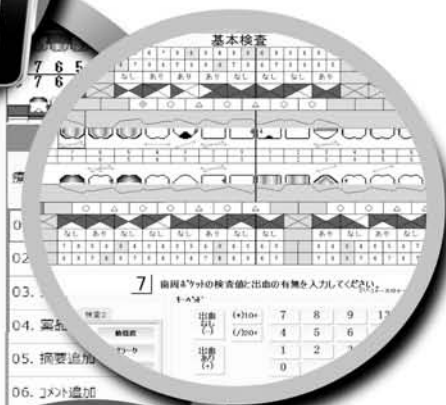
統合電子カルテシステム

ハイデンタルスピリット

Hi Dental Spirit[®] XR 7i

i Pad が
世界を変える

カルテの
真正性を確保



＜地域密着 即行く、即やる＞



◎ 日立特約店 お客さまの満足が私たちの喜びです。

THS
TOWA HI SYSTEM CO., LTD.

東和ハイシステム株式会社

本社 〒700-0971 岡山市北区野田3丁目12-33 FAX 086-243-6838

TEL **086-243-3003**(代)

<http://www.towa-hi-sys.co.jp>

＜サポートは私たちに
おまかせください＞

成人の鎮痛における用量が拡大され、変形性関節症の効能が追加されました!

解熱鎮痛剤

カロナール®

創薬

創薬(分包装を除く)

創薬(分包装を除く)

原末

細粒20%・50% / 錠200・300

日本薬局方・アセトアミノフェン

薬価基準収載

アセトアミノフェン製剤

【警告】

- (1) 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1500mgを超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。(「2. 重要な基本的注意(8)」の項参照)
- (2) 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。(「8. 過量投与」の項参照)

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 消化性潰瘍のある患者[症状が悪化するおそれがある。]
- (2) 重篤な血液の異常のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- (3) 重篤な肝障害のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- (4) 重篤な腎障害のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- (5) 重篤な心機能不全のある患者[循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。]
- (6) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (7) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。]

【効能・効果】

- (1) 下記の疾患並びに症状の鎮痛
頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症
- (2) 下記疾患の解熱・鎮痛
急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)
- (3) 小児科領域における解熱・鎮痛

【用法・用量】

効能・効果(1)の場合

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300-1000mgを経口投与し、投与間隔は4-6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

効能・効果(2)の場合

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300-500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

効能・効果(3)の場合

通常、乳児[※]、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10-15mgを経口投与し、投与間隔は4-6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

- (1) 乳児[※]、幼児及び小児の1回投与量の目安は右記のとおり。
〔「1. 慎重投与」及び「2. 重要な基本的注意」の項参照〕
- (2) 「小児科領域における解熱・鎮痛」の効能・効果に対する1回あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして500mg、1日あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして1500mgである。

体重	1回用量 アセトアミノフェンとして
5kg [※]	50 - 75mg
10kg	100 - 150mg
20kg	200 - 300mg
30kg	300 - 450mg

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1) アルコール多量常飲者[肝障害があらわれやすくなる。] (「3. 相互作用」の項参照) (2) 絶食・低栄養状態・摂食障害等によるグルタチオン欠乏、脱水症状のある患者[肝障害があらわれやすくなる。] (3) 肝障害又はその既往歴のある患者[肝機能が悪化するおそれがある。] (4) 消化性潰瘍の既往歴のある患者[消化性潰瘍の再発を促すおそれがある。] (5) 血液の異常又はその既往歴のある患者[血液障害を起こすおそれがある。] (6) 出血傾向のある患者[血小板機能異常が起こることがある。] (7) 腎障害又はその既往歴のある患者[腎機能が悪化するおそれがある。] (8) 心機能異常のある患者[症状が悪化するおそれがある。] (9) 過敏症の既往歴のある患者 (10) 気管支喘息のある患者[症状が悪化するおそれがある。] (11) 高齢者〔「2. 重要な基本的注意」及び「5. 高齢者への投与」の項参照〕 (12) 小児等〔「2. 重要な基本的注意」及び「7. 小児等への投与」の項参照〕
2. 重要な基本的注意
(1) 解熱鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。 (2) 急性疾患に対し本剤を用いる場合には、次の事項を考慮すること。 1) 発熱、疼痛の程度を考慮し投与すること。 2) 原則として同一の薬剤の長期投与を避けること。 3) 原因療法があればこれを行うこと。 (3) 過度の体温下降、虚脱、四肢冷却等があらわれることがあるので、特に高熱を伴う高齢者及び小児等又は消耗性疾患の患者においては、投与後の患者の状態に十分注意すること。 (4) 高齢者及び小児等には副作用の発現に特に注意し、必要最小限の使用にとどめるなど慎重に投与すること。 (5) 感染症を不顕性化するおそれがあるため、感染症を合併している患者に対して用いる場合には適切な抗菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に投与すること。 (「3. 相互作用」の項参照) (6) 他の消炎鎮痛剤との併用は避けることが望ましい。 (7) アセトアミノフェンの高用量投与により副作用として腹痛・下痢がみられることがある。本剤においても同様の副作用があらわれるおそれがあり、上気道炎等に併発する消化器症状と区別できないおそれがあるため、観察を十分行い慎重に投与すること。 (8) 重篤な肝障害が発現するおそれがあるため注意すること。1日総量1500mgを超す高用量で長期投与する場合には定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。高用量でなくとも長期投与する場合にあっては定期的に肝機能検査を行うことが望ましい。また、高用量で投与する場合などは特に患者の状態を十分に観察するとともに、異常が認められた場合には、減量、休薬等の適切な措置を講ずること。 (9) 慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には、薬物療法以外の療法も考慮すること。
3. 相互作用
併用注意(併用に注意すること)
●リチウム製剤(炭酸リチウム) ●チアジド系利尿剤(ヒドロクロロチアミド等) ●アルコール(飲酒) ●クマリン系抗凝固剤(ワルファリンカリウム) ●カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、プリミドン、リファンピシン、イソニアジド ●抗生物質、抗菌剤
4. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
重大な副作用
1) ショック(頻度不明)、アナフィラキシー様症状(頻度不明): ショック、アナフィラキシー様症状(呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、蕁麻疹等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 2) 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)(頻度不明)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)(頻度不明): 中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 3) 喘息発作の誘発(頻度不明): 喘息発作を誘発することがある。 4) 肝機能障害(頻度不明)、黄疸(頻度不明): 肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 5) 顆粒球減少症(頻度不明): 顆粒球減少症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

上記以外の使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。

TO-TSU-Navi 医療従事者向け会員サイト
疼痛ナビ 新規会員募集中!

カロナール®の学術情報に関するお問い合わせ先: 0120-050-763
その他に関するお問い合わせ先: 0120-369-873

〈受付時間〉月～金曜日 9:00～17:30 (祝祭日・当社休日を除く)

製造販売元(資料請求先)
Showa 昭和薬品化工株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-11
http://www.showayakuhiinkako.co.jp

2011年2月(BC)

2011年
中国・四国

デンタルショー

4月16日(土) PM 2:00~PM 8:00 • 17日(日) AM 9:00~PM 4:00

空クジ
なし!

豪華景品が当たるお楽しみ抽選会があります

無料ドリンク
コーナーも
設置!
(ジュース・コーヒー)

特賞 46インチ液晶テレビ(1本)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1等賞 アップル iPad (2本) | 4等賞 携帯音楽プレイヤー (5本) |
| 2等賞 ハイビジョンビデオカメラ(2本) | 5等賞 商品券(5,000円分) (10本) |
| 3等賞 任天堂 Wii (3本) | メーカー賞 粗品 参加賞 |

※景品はやむを得ない事情で同等品に換わることもありますので、ご了承ください。

● ご挨拶

来る、4月16日(土)・17日(日)「コンベックス岡山」にて2011年中国・四国デンタルショーを開催いたします。今回は初めての試みとして四国歯科用品商協同組合様のご協力を得て出展100社の最新の歯科器材を展示し、記念講演会とテーブルクリニックを9講座ご用意いたしました。万障お繰り合わせの上、ご来場いただきますよう、ご案内申し上げます。

主催：中国歯科用品商協同組合 理事長 鈴木 博
四国歯科用品商協同組合 理事長 杉本 隆昭

● 記念講演会 4月17日(日) 10:30▶12:00

<テーマ>

CT診断で変わる今後の日常臨床を考える

講師 糸瀬 正通 先生

● テーブルクリニック 4月16日(土)~4月17日(日)

◆16日(土)

15:30~16:15

「レイニング樹脂Nを使用した
ノンクラスプデンチャー製作の提案」

東伸洋行(株) 歯科技工士 山本 士郎

16:30~17:15

「ホワイトニングのすすめ~上手なホワイトニングの勧め方」

(株)松風 山藤 友貴

17:30~18:15

「Aadva CAD/CAMシステムの概要と
上部構造製作における有用性」

(株)ジーシー 歯科技工士 岡田 哲也

18:30~19:15

「医院内水ライン クリーンシステムのご案内」

(株)セルフメディカル 小川真太郎

◆17日(日)

09:30~10:15

「根管治療用ロータリーニッケルチタンファイル"TFファイル"」

(株)シダ 矢野 浩司

10:30~11:15

「明日から役立つ歯周病患者様へのブラークコントロール」

ウエルテック(株) 歯科衛生士 樋口 敦子

12:00~12:45

「ビプラートケアの臨床的活用」

フリーランス歯科衛生士 岩切 明美

13:00~14:00

「マイクロスコープ導入後の私の治療」

奈良県開業 松川歯科医院院長 大阪SJCD会長 松川 敏久

14:15~15:15

「ヘルスプロモーションが変える歯科医院のあり方」

CHP研究会代表 歯科医師 諸井 英徳

● 会場

▶岡山県総合展示場

コンベックス岡山

岡山市大内田 675(岡山県総合流通センター内)

TEL(086)292-6111

交通

瀬戸中央道 早島 IC 車 約5分
JR山陽本線 中庄駅 バス 約10分
JR岡山駅 バス 約30分

1,500台
駐車可

総合展示場
コンベックス
岡山

主催/中国歯科用品商協同組合 (島根・岡山・広島・鳥取・山口各県支部)
四国歯科用品商協同組合 (徳島・香川・愛媛・高知各県支部)

後援/岡山県歯科医師会・島根県歯科医師会・広島県歯科医師会・岡山県歯科技工士会・岡山県歯科衛生士会・日本歯科商工協会・
日本歯科用品商協同組合連合会(日商連)

※中国および四国歯科用品商協同組合は日本歯科用品商協同組合連合会(日商連)を構成する10単協の1つで島根・岡山・広島・鳥取・山口の5支部、また徳島・香川・愛媛・高知の4支部があり、地域協同体として、中国四国地方の歯科業界の発展に寄与しています。

平成23年4月1日発行（毎月1日発行）
昭和42年4月3日 第二種郵便物認可

岡歯会報

4月号

通巻第七十一号

定価一〇〇円

編集人

中村

慶男

発行人

酒井

昭則

発行所

岡山市北区石関町一―五
岡山県歯科医師会（購読料は年会
費に含まれる）

